



利休忌にちなみ



聴松軒  
Choshouken

【お茶湯】

- 一杓目の湯の量、湯の入れ様
- 天目茶碗のあたため方
- 天目台の扱い方、男子女子の違い
- 独客にてのお茶湯
- 亭主自ら供えるには
- 亭主相伴
- 主客共水屋からの席入りでは
- お茶湯の入れ方

【茶カフキ】



お茶湯



茶カフキ

【回 花】



回花

【茶カフキ】



長緒

【盆 香合】



長緒

【掛物】 「力囲希」

【花入】 唐銅 伝来写

花 菜の花

椿 白玉・加茂本阿弥・初嵐・

大神楽・袖隠し

【香合】 クワラ型「麻三斤」

【釜】 霰丸釜 姪志作

炉縁 真塗

【水指】 瀬戸一重口

棚 桐四方棚

【茶入】 老松

仕服 利休梅緞子

【茶碗】 大樋 アメ釉

替 桜 京焼

ひな絵 京焼

【茶杓】 誠堂老師 銘「静寂」

【薄茶器】 真塗 中棗

蓋置 染付墨台 京焼

建水 大脇差写 信楽

【菓子器】 即中斎好 独楽

菓子 「おぼろ饅頭」「初桜」「若草饅頭」

「野のこみち」「桜餅」とらや製

干菓子 「鶏卵素麺」「源氏物語」「金平糖」

「和三盆」「ゆず菓」

茶 而妙斎好「祥雲の昔」 柳桜園



ひな絵



麻三斤



唐銅



力囲希



大樋



桜



静寂



染付墨台

【回 花】

- 茶入れの下から入れる
- 本茶の入れ替え
- 名のり札の扱い、回し様
- 折居の扱い、回し様
- 執筆の記し方
- 執筆の名のり札、折居の扱い方
- 小棗、男子女子の扱い違い

上林 楽寿の昔 (柳桜園)  
竹田 松韻の昔 (二保堂)  
客 祥雲の昔 (柳桜園)

【長 緒】

- 緒の扱い
- 割り蓋の扱い、男子女子の違い
- 拝見の仕方

【盆 香合】

- 盆の扱い
- 炭斗の扱い
- 香合の扱い

- 亭主がしまうとき、上から下へと順に水を入れる

- 花入れの下から入れる
- 二順三順と回る